



歯科訪問診療における 口腔機能精密検査の活用法



講師

なかお
中尾ゆう
祐先生

■ 医療法人福和会 別府歯科医院 訪問診療部 副院長

略歴

九州大学歯学部卒業
 2001年 九州大学歯学部附属病院、旧第一口腔外科
 (歯科麻酔科、救命救急センター勤務含む)
 2013年 一般歯科開業医勤務
 2017年～ 医療法人福和会 別府歯科医院 訪問診療部 副院長

所属学会

日本摂食嚥下リハビリテーション学会 認知士
 日本老年歯科医学会
 日本臨床栄養代謝学会
 日本化学療法学会

口腔機能精密検査は、種々の口腔機能を数値化することができる画期的な検査法である。定期的にこれらを検査し評価することで、いち早く機能の低下を察知することが可能となる。口腔機能の低下は、要介護のリスクにつながるのみならず死亡率にも関連するとも報告があり、これらを予防する意義は大きく、まさに歯科が健康長寿の一旦を担うことが可能となったといえる。

口腔機能精密検査は、本来は外来通院可能な患者がターゲットとなるが、訪問診療においても活用可能だと私は考えている。訪問診療で接する患者の中の多くは、フレイルの進行や脳血管疾患により著しく口腔機能が低下や認知症により、全ての検査を正確に行うことができないことが多い。しかしながら、限られた検査結果から口腔機能を紐解き、口腔機能を最期の時まで口腔機能に寄り添うことは重要だと考える。

今回、我々の口腔機能精密検査の活用法についてご紹介し、人生最期のステージにおける口腔機能を計測する意義について考える機会にしたい。

日時

11月16日(木) 19:30～
21:00

場所

オンライン(Zoom) 講演会

(会場設営はありません)

*参加対象／歯科医師、スタッフ等

<参加申し込み登録>

https://x.gd/1116_shika

右のQRコードまたは短縮URLからお申し込みください。佐賀県保険医協会のホームページからお申し込みできます。

注意事項

参加登録後にZoomから確認メールが届きます。届かない場合は、登録できていない可能性があります。事務局までお問い合わせください。

